

10/30 3-7

国民が統一協会問題で「通知」

田原京は26日、茂木敏の。改定で「活動の社会充幹事長名簿」、統一協会的相當性が懸念される組織との「関係遮断」を求める「通知」を衆院議員に送り、改定したことを述べました。しかし、改定で「活動の社会的影響力を受けたる」と「または、その活動をして、統一協会との連携の助長すると誤解される調査と検証、反省なしにような行動について厳「関係遮断」を通知してしまった。「反省」の言葉は、「これが悔む」との文書も、まったく実効性はありませんでした。

通知は、岸田文雄首相（元総裁）が衆院議員は、24日、山縣大志郎経済再生担当相が辞任した後も、26日には大串正樹デジタル担当副大臣が閣議運営会議との「政策協定」に署名していくことが、28日には木原誠二官房副長官が昨年総選挙で闘争したことを受け、岸田文雄の指針「ガバナンスコード」底線を求めるところを改定したことに対するものとして、複数メッセージの

送付や会合・行事への参

如、選舉・政治活動に対

する組織的な支援や資金

要請する」とを控えるなど

どの具体例を示します

た。「反省」の言葉は、

言もありません。

しかし、岸田首相は

「協議員が依頼し、説明

すべきだ」（24日）など

ど「田原京として責任を

持った調査の実施を拒

否。最大の「広告塔」だ

った安倍晋三元首相や細

田博之衆院議長への調査

も拒否し続けています。

「反省もなく、責任を持

った調査も国民への説明

もしないままのガバナン

スコード改定や「通知」

では「関係遮断」の保証

となりません。まして

や、これで算可算などは

許されません。

反省なし「関係遮断」不可能

は政権の中枢にまで及ぶ深刻な事態です。

（若林明）